

農文協の通販書店

「田舎の本屋さん」通信

〔農業・園芸・有機・帰農・食育・自給・健康・自然・住む・中国・読書〕

◆ニュース・イベント

◇地域に根ざした食育コンク
ール2005 募集中!!
元気のよい、食育活動の展
募集します。地域、学校、企
業・団体、農林漁業などの場
で実践されている食育活動を
全国から募集して、特に優れ
た実践事例を表彰します。

◇遊びにおいでよ!ニッポン
食育フェア 第3回食育総合
展 出展者募集中!!
テーマ:つなげよう食の知恵
伝えよう食の技(仮)
会場:東京国際フォーラム展
示ホール(東京都千代田区)
期間:二〇〇六年一月一日
(土)、一日(日)2日間
主催:農林水産省
提唱:地域に根ざした食育推
進協議会 農山漁村文化協会
出展:一〇〇社・一三四ブ
ース(展示ホール1・2500
㎡)

来場者:一般消費者、幼稚園
・保育所、小中高等学校教
関係者、栄養士、調理師、食
生活改善推進員、食品産業関
係者、農林水産業関係者ほか。
三〇〇〇人(予定)
併催 食育推進ボランティア活動発
表会 一五日(日)一時(予
定) 地域に根ざした食育コンク
ール 表彰式・受賞事例発表会
一五日(日)二時(予定)
詳しくは、事務局 (社)農文協
提携事業センター内
電話:〇三(三五八五)一一
四四六 FAX:〇三(三五八五)
四四六
info-shokku@mail.rwainhe
lor.jp



「第3回ニッポン食育フェア」会場内

◇ニッポン食育ネット
講師 実践紹介 食と農の
応援団
◇フェア・展示会 ニッポン
食育フェア NHK健康フェ
ア 故郷に残したい食材
◇コンクール 地域に根ざし
た食育コンクール 食育コン
クールデータベース
◇食育実証研究助成、実践研
究発表会
◇そのほか 食育基本法・食
生活指針・食事バランスガイ
ド・農文協の食農教育
http://nipponyokaku.ne
t

◆NHK健康フェア

◇NHK健康フェア
食育と健康のつどい
◆千葉県船橋市
実施日:一月二七日(日)
会場:船橋市総合体育館
放送予定:平成一八年一月二
六日(木)
◆北海道知内町
実施日:二月一日(日)
会場:知内町スポーツセンタ
放送予定:平成一八年二月二
三日(木)
◆奈良県大和高田市
実施日:平成一八年二月二六
日(日)
会場:さざんかホール
放送予定:平成一八年三月一
六日(木)
◇「ほほ日刊イイトイ新聞」に
「日本の食生活全集」登場
「ほほ日刊イイトイ新聞」は

一日のアクセス数が日本一多
いHP。
「担当編集者は知っている」
コーナーに「日本の食生活全
集」が紹介されています(9
月27日から)。
「正月のお雑煮は丸餅だ!」
「角餅だ!」など、意見が食
い違うこともあるのですが、
相手の出身地の本を読むと、
食文化の深いレベルからわ
かかって、これまた面白いで
す! (「ほほ日」渡辺)
◇食育推進の手引きプレゼン
ト(二四頁・全国の食育推進
活動資料・無料)
教育センター・生協の教育
事業・地域の青少年育成会・
農業振興課・農協中央会・普
及センター・農業大学校・青
年会議所・短期大学・小学校
・保育園など、地域で職場で
資料として配布ご利用いた
いでいます。ご希望の方はメ
ールください。お送りしま
す。
「事例に学ぶ食育推進の手引
き」ご希望の方は、件名に「食
育推進の手引きプレゼント」
として、住所・氏名・電話・
ご希望部数・ご職業をお知ら
せください。



◆買ってよかった本 読んで

◇「国産米粉でクッキング」
(坂本廣子・坂本佳奈/農文
協/1500円)
坂本廣子先生、子どもが生
まれたときから先生のレシピ
とお世話になっています。そ
のとき買った子ども用の包丁
もずっと愛用しています。手
が小さい私にぴったりなので
:今回の本はカラー写真なの
で、とてもきれいで喜んでい
ます。「りんご」のほったら菓
子」(はともおいしく何度も
作っています。砂糖は半量で
作ってその分お代わり自由で食
べてます。あるときミョウの粉
だから炊飯器でできるかしら
ととてもよかったです。図書館で
借りて読んで私は主婦で二人
暮らしですが、料理に参考に
なる点が多く、イラストのお
じいさんが可愛くて早速取り
寄せて愛読しています。これか
らも多くなる高齢者の独り暮
らしを助けるような本を希望
します。(岐阜県・加藤様・
69歳)

◇「買ってよかった本 読んで」
とやってみたらOKでした。
でもふちの「カリッ」とした
ところはオープンに出来ないま
せんでんぶらも「サクッ」
シチュも「トロリ」もす
っかりコマの粉のファンにな
ってしまいました。生協でも
上新粉のPRばかりしていま
す。これからは先生のレシピ
で子育てがんばります。(埼
玉県・寺岡様・四二歳)
◇「ひとりでも食べつきり上
手」(坂本廣子/農文協/一
四七〇円)
とてもよかったです。図書館で
借りて読んで私は主婦で二人
暮らしですが、料理に参考に
なる点が多く、イラストのお
じいさんが可愛くて早速取り
寄せて愛読しています。これか
らも多くなる高齢者の独り暮
らしを助けるような本を希望
します。(岐阜県・加藤様・
69歳)



「米粉でクッキング」

農と食、都市と農村をむすぶ雑誌

増刊 現代農業

おとなのための食育入門

年4回 定価900円 年間3600円

「グリーンライフ」が始まった!
スローフードな日本!
食の地方分権
食べもの教育応援団
田園・里山ハローワーク
希望のニート・フリーター

●シリーズ既刊
「グリーンライフ」が始まった!
スローフードな日本!
食の地方分権
食べもの教育応援団
田園・里山ハローワーク
希望のニート・フリーター

「65号 2004年8月」
食の商品化で断ち切られ
た人と自然、町と村の環
をつなぎ直す食育の動
き。結城登美雄、島村菜
津他

月刊 現代農業
定価800円 年間9600円
安全安心の作物づくり、農家の加工・直
売・産直、食農教育、グリーンツーリス
ム、農都交流など、農業・農村、食の今
を伝える総合誌。

モミガラ
使わないなんてモッタイナイ
(2005年11月号) 特集

10月号 土・肥料特集
9月号 キノコの力を!
8月号 台風対策 100の知恵
7月号 水をよくする

現代農業
土壌改良に、マル
チに、肥料に、病
害虫予防に、何に
でも。発酵させる
と不思議な力を発
揮。

◆新刊・話題本情報

◇「自家製酵母でパンを焼く」(相田百合子／農文協)／一五〇〇円) 酵母パンの本を探していましたがとてもピッタリでした。つくり方がとてもわかりやすく、さっそく梨で酵母をととり、いま冷蔵庫で一次発酵させています。明日焼けると楽しみです。楽しみ。ちなみにストレート法にしてみました。次は酒かすにしようと思います。私はシンプルなりん系が好きですが娘や夫はふかふかやわらか甘み系が好き、もつといるようなパンのつくり方が知りたいのです。ありきたり



◇書評『信州いやま食の風土記』／「農新」9月5日 「読書欄」新刊

長野県飯山市に暮らす有志たちが委員となり、日本の食文化の原型を残していた昭和三〇(一九五五)年代の飯山の食と農の文化を、お年寄りたちから聞き書きして当時を掘り起こした。台所につながるせんげ畑(自給畑)や屋敷木、長い冬を乗り越える野菜の保存や貯蔵、凍(し)みや雪を活用した食品加工、ええっ(こ(結い)で作った祭りやもてなしの多彩な料理、食の知恵と技を写真で再現して、当時の暮らしを伝える。◇須藤功さんの写真集「昭和の暮らし」完結 農漁村や町

は卒業したので…この本ではP43・紅麹がはじめて知ってうれしです。知らないパンがまだまだありそう。(金沢市・末田様・四〇歳)

◇「聞き書 アイヌの食事」(萩中美枝他／農文協)／二九〇〇円) 小学生の頃から働かなくてよかったら北海道で自給自足の生活を始めようと思っていた。三年前65歳で愛知県から来た。先住民アイヌをもっともつとよく知りたい。60%自給自足です。(北海道・細川様・六八歳)

の姿5巻に(「毎日新聞」9・22夕刊)

須藤さんは「この時代には江戸時代から続いた暮らしの最後の姿が残っている。貧しいけれど希望があったこの時代を今の子どもたちを知って欲しい」と話している。各巻5250円

◇「椅子づくり百年物語」(百の知恵シリーズ／宮本茂紀)／2800円

◇著者に聞く「草原がはぐくむ味」小長谷 有紀さん(神戸新聞)9・11)



「モンゴル料理」と聞いて多くの人が連想するのがジンギスカン鍋だろう。だが、実は日本人が勝手につくりだした和製料理である。食を切り口に世界の文化を考える出

版シリーズに気鋭のモンゴル学者・小長谷さんのモンゴル編が加わった。悠久の大草原は「白い食べもの」と「赤い食べもの」に大きく分類される。「白」は乳製品、「赤」は肉類。どちらもモンゴル人の主食です)

◇「世界の食文化 3 モンゴル」(小長谷有紀／農文協)／3200円)

◇「世界の食文化 1 韓国」(世界の食文化／朝倉敏夫)／3200円)

◇「食育のすすめ方」(農文協)／1200円)



◇「食品報道」のウソを見破る 食卓の安全学(家の光協会／松永和紀)／1470円)

◇「O&A 絵でみる野菜の育ち方」生育のメカニズム(藤日幸嶺)／1700円)

◇「あなたにもできる野菜の輪作栽培」土がよくなり、農薬・肥料が減る知恵とわざ(窪 吉永／1800円)

◇「おいしく続ける玄米食糧」クッキングごはん十常備菜十旬のおかずで食卓づくり)

◇藤城寿美子／1500円) 聴かなくなった脳(瀬口豊廣)／1300円)

◇「かみ合わせを正して全身健康」頭痛、腰痛から慢性病まで(丸山剛郎)／1300円)

◇「抗ガン剤は転移促進剤! これからのガン治療」(白田篤伸)／1400円)

◇仙台発:「木の文化誌」別冊シルバン(シルバン編集委員会)／1260円)



◇「住む。15号」(2005年秋号)田園の小きな家。(泰文館)／1200円)

◇「木材革命 ほんとうの」木の文化の国」が始まる(村尾行一)／1700円)

◇「田舎の本屋さん」事務局 東京都港区赤坂七の六の(〒107-8668) 農文協内
http://shop.ruralnet.or.jp/ shop@mail.ruralnet.or.jp
電話03(3585)1114
FAX 03(3589)1387

【あとがき】
▽「農林振興課に勤務しているのですが、たまたま課にきていた「出版ダイジェスト」農文協特集のカラー広告を見て、和の雰囲気／障子や若い二人の食事の風景、そしてなにより「うかたま」のロゴがこれまでの専門雑誌の少ない、でもちょっとこだわりを

感じさせる雑誌のようで、購読を決意しました」とは、山梨県的女性▽この十二月に発売する新雑誌「うかたま」はこれまでの農文協発行の雑誌にはない、まったく新しいスタイルの雑誌です。創刊の案内パンフ用意しています。ご請求ください(うる)

●来年三月、食育を国民的運動として推進する雑誌「食育推進活動(仮)」が創刊されます!

食育基本法の制定を機に、食育の実践事例(学校の食育、地域の食育、家庭の食育)、食育推進をめぐるトピックス、食育の理論・エッセイ、食育推進のための各種資料など、食育の国民的運動を推進するための有用情報を満載する季刊誌を発売するとのことでした(創刊号は、二〇〇六年三月発行)。

雑誌の発行とあわせて、メールマガジンも発行し、運動の広がりも深まりに寄与したたく存じます。資料をお求めの方は、農文協までご連絡ください。

*この雑誌は、従来年二回の発行だった「食文化活動」を改題して、全面的にリニューアルし、年四回の発行とするものです(三月、六月、九月、十二月発行)。現在「食文化活動」を定期でご購読の皆さまには、改めてご案内を申し上げますので、引き続きご購入いただけます。お問い合わせ、お申し込みは、ご連絡ください。

農文協

ルーラル電子図書館

農家の栽培技術と工夫、自給の知恵、食品加工、郷土食、民間療法、食農教育、農都交流：居ながらにして、全国の農業と暮らしの知恵、第一線の研究成果、最新情報が利用できる会員制図書館

年会費24000円

http://lib.ruralnet.or.jp/

16500語の用語集、テーマ別データベース(記事や別冊の断片検索など)、膨大な記事や記事を引出す、仕掛けが充実している電子図書館。更新、成長する。

最新

農業技術事典

NAROPEDIA



2006年3月発行予定
独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構編著
発行・農文協、B5判、2200頁 ●予価38000円

農業生産技術とその周辺の重要語を網羅、精鋭研究者1100名が総力執筆。収録用語約15000語、カラー写真2500枚

多様な用語を案内 同義語、別名、解説文にてくぐるキーワードをすべて案内 実践的な解説文 その用語の背景や現場での状況・課題までをコンパクトに解説